

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。

浦人煙  
樹生  
火  
生

人煙

浦樹に生ず

高木聖雨先生

# 参考手本

※これは規定課題ではありません。

浦人煙

樹生

木聖雨先生

人煙

浦樹に生ず

高木聖雨先生

# 条幅かな

みねおろす松の嵐の音にまたひびきをそふる入相のかね（西行）  
三年農多非支曾留可



前後赤壁賦（元・趙孟頫）

我知之矣疇昔之夜飛鳴而過我者非子也

浮乘清鄉先生

# 条幅規定

C部（二段以下）

我知之矣  
疇昔之夜  
飛鳴而過我者  
非子也  
而過我者非子也

道因法師碑（唐・歐陽通）

鄧國公竇璡行臺左僕射贊國公竇軌長史申



条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

（9月10日締切）

# 半紙規定(一)

曹全碑（漢・作者不詳）



国都尉丞  
右

国都尉丞右

[この課題を同月の半紙随意には出品出来ません]

(9月10日締切)

## 半紙規定(二)

九成宮醴泉銘（唐・歐陽詢）



無竭道隨時

清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書

〔一級以下〕楷書

竭べる無し。道は時に隨いて

[この課題を同月の半紙随意には出品出来ません]

(9月10日締切)

# 条幅参考手本

七星竹馬友恭敬始若終生

涯雖清貧不墮其家風

千泉

七星竹馬友 恭敬始若終 生涯雖清貧 不墮其家風

七星は竹馬の友 恭敬始めも終りの若し 生涯清貧と雖も 其の家風を墮さず

山田雪草先生

白雲埋大壑  
陰崖滴夜泉  
應居西石室  
月照山蒼然  
西石室月照山蒼然  
章應物得重之

白雲埋大壑 陰崖滴夜泉 應居西石室 月照山蒼然  
白雲大壑を埋め 陰崖夜泉滴る 応に西の石室に居るなるべし 月照りて山蒼然たり

和泉千泉先生

# 条幅参考手本

明るいほうへ明るいほうへ一つの葉でも陽の洩るとこへ

葉でも陽の洩るとこへ  
金子みすゞの詩より  
江雲ひく

明るいほうへ明るいほうへ一つの

瀑布半天上 飛響落人間 莫言此潭小 搖動匡廬山  
瀑布半天の上 飛響人間に落つ 言うこと莫かれ此の潭小なりと 搖動す匡廬山

青 柳 江 雲 先 生

莫言此潭小搖動匡廬山  
細野江華先生書

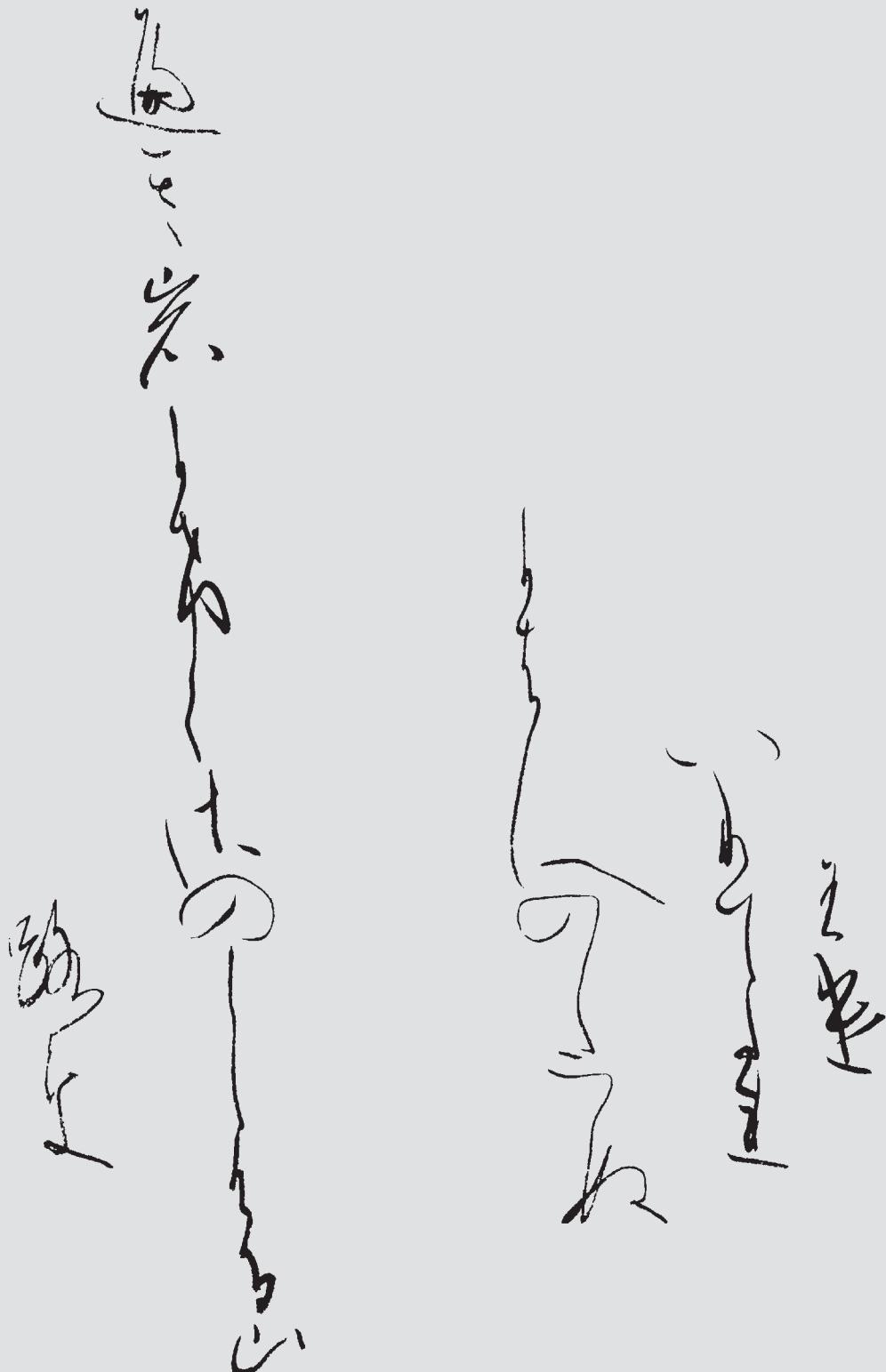
細野江華先生

# 半紙かな(初段以上)

王  
遣  
利  
多  
連  
可  
者  
多  
遍  
可  
希  
佐  
草  
の  
し  
げ  
る  
山  
路  
を  
平  
(西行)

支部名 段 姓 号  
(鉛筆可)

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。  
※ちらし文字変換は自由



浮 乘 清 郷 先 生

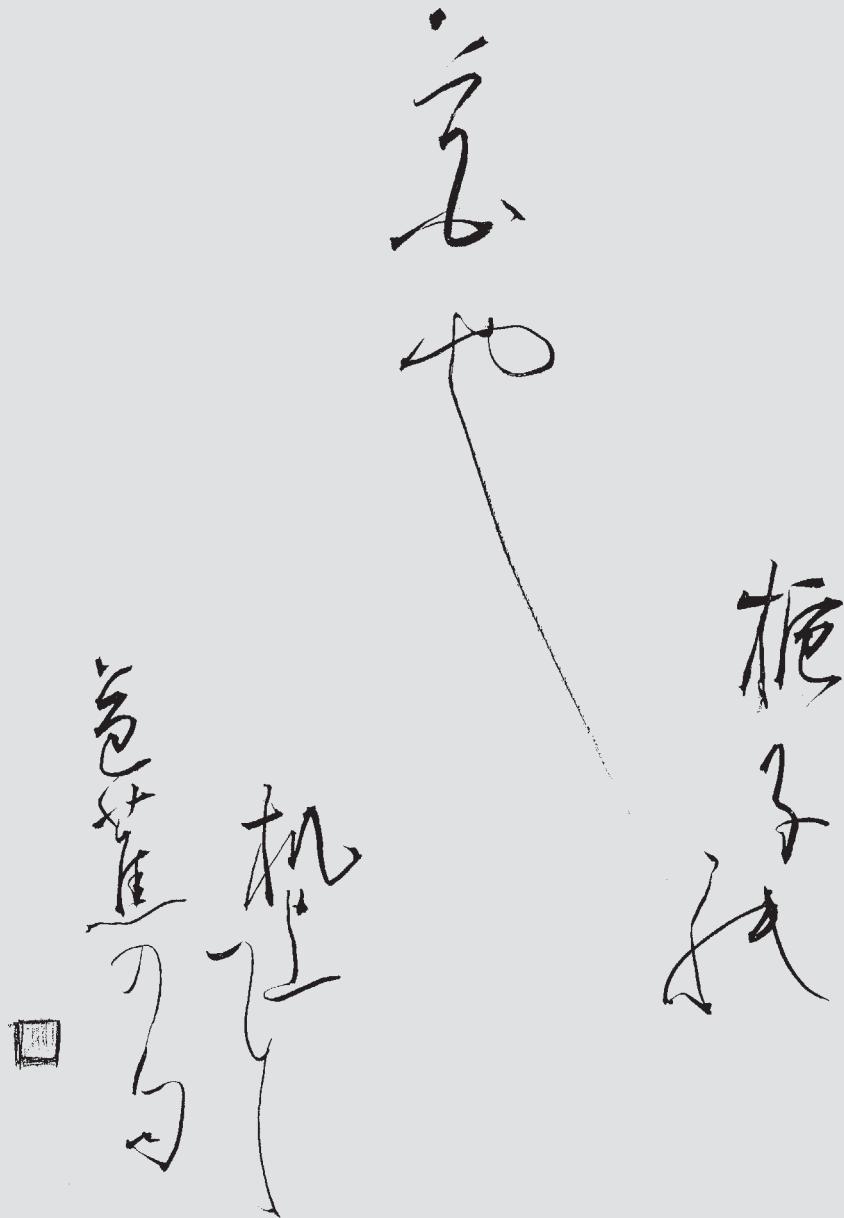
(9月10日締切)

# 半紙かな（1級～8級）

梶子の花や机上に芭蕉の句（森澄雄）

支部名 級 姓 号  
(鉛筆可)

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。  
※ちらし文字変換は自由

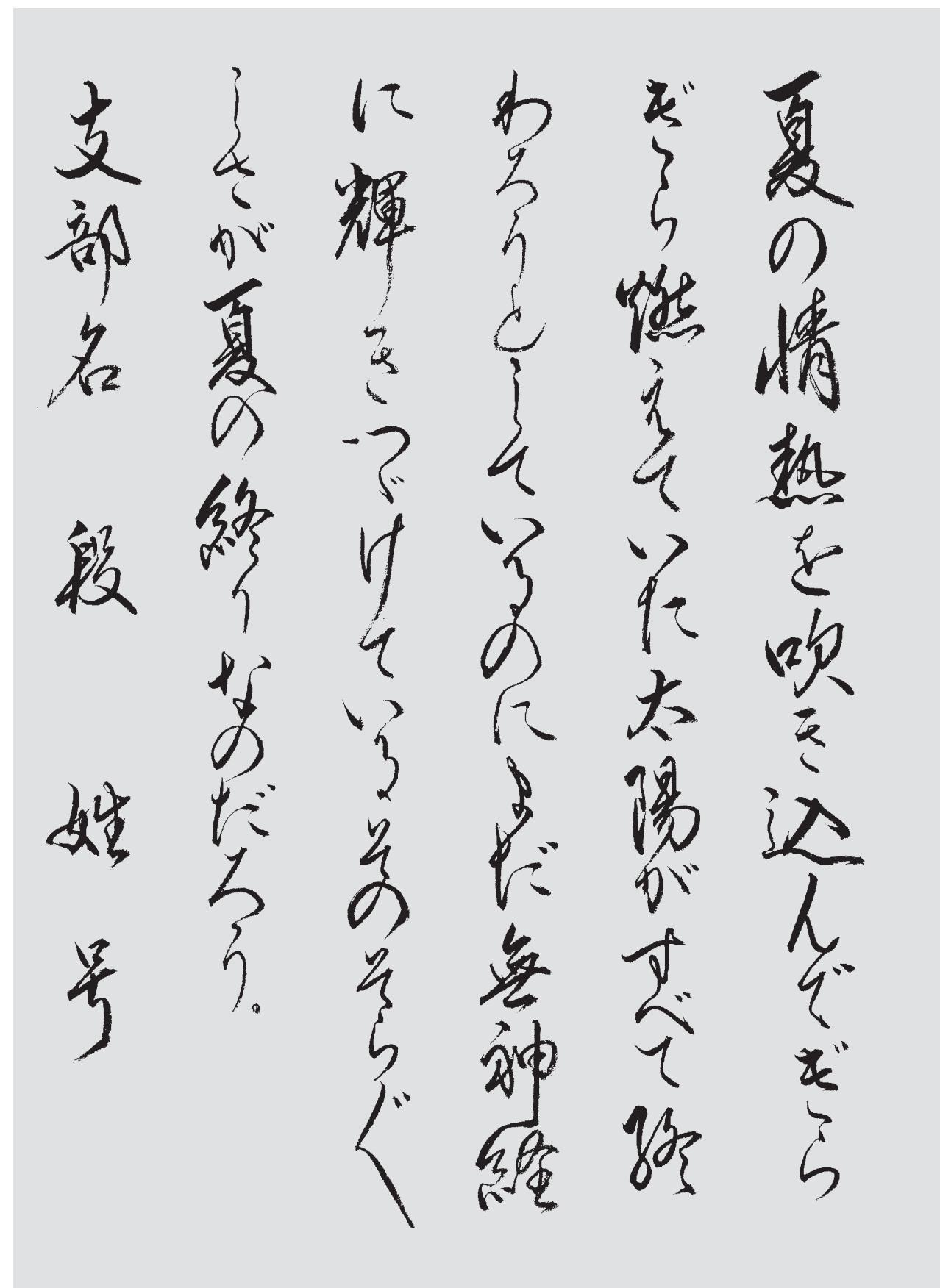


後藤真水先生

(9月10日締切)

## 実用文（準三段以上）

〈書風任意〉



(9月10日締切)

## 実用文（二段以下）

朝呼びさしませ夏鳥より早や織姫の

夢さしめぬ天の遠理の枝くちて比翼

の鳥影かすくわたらふなびと櫂

を絶え流れむなまき銀河

支 部 段 級 姓 号

# 細字

支部

段

姓

号

血縁嚴父慈母夫妻互助  
血縁嚴父慈母夫妻互助  
血縁嚴父慈母夫妻互助  
血縁嚴父慈母夫妻互助  
血縁嚴父慈母夫妻互助  
血縁嚴父慈母夫妻互助  
血縁嚴父慈母夫妻互助  
血縁嚴父慈母夫妻互助

慈じ 厳げん  
父ふ しっかりした、厳格な父。  
母ほば やさしい母。

名前は必ず楷書  
17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

※一級～八級は草書まで。 初段以上は隸書まで。

# 硬筆（初段以上）

本院定型用紙一枚に書く

八、九月ばかりに雨にまじりて吹きたる…夏とほしたる綿衣…生絹の單衣重ねて…

わたきぬ  
すずし  
ひとえ

支那名

あ

姓う

八、九月ばかりに雨にまじりて吹きたる…夏とほしたる綿衣…生絹の單衣重ねて…

風りとあはれなし。雨のあく模さまにさ  
わが（つゆまでもに、反とほくらふ綿衣  
のかかげたるを、生絹の單衣重ねて着た  
るも。りととかく。枕草子

青柳江雲先生

(9月10日締切)

硬筆（4級以下）

支部名

級

姓

号

毎年八月一日、長岡市の夜空に、平和  
を祈る白菊の大輪の花が咲く。

本院定型用紙・たて半分に書く

齊藤翡翠先生

硬筆（1級～3級）

支部名

級

姓

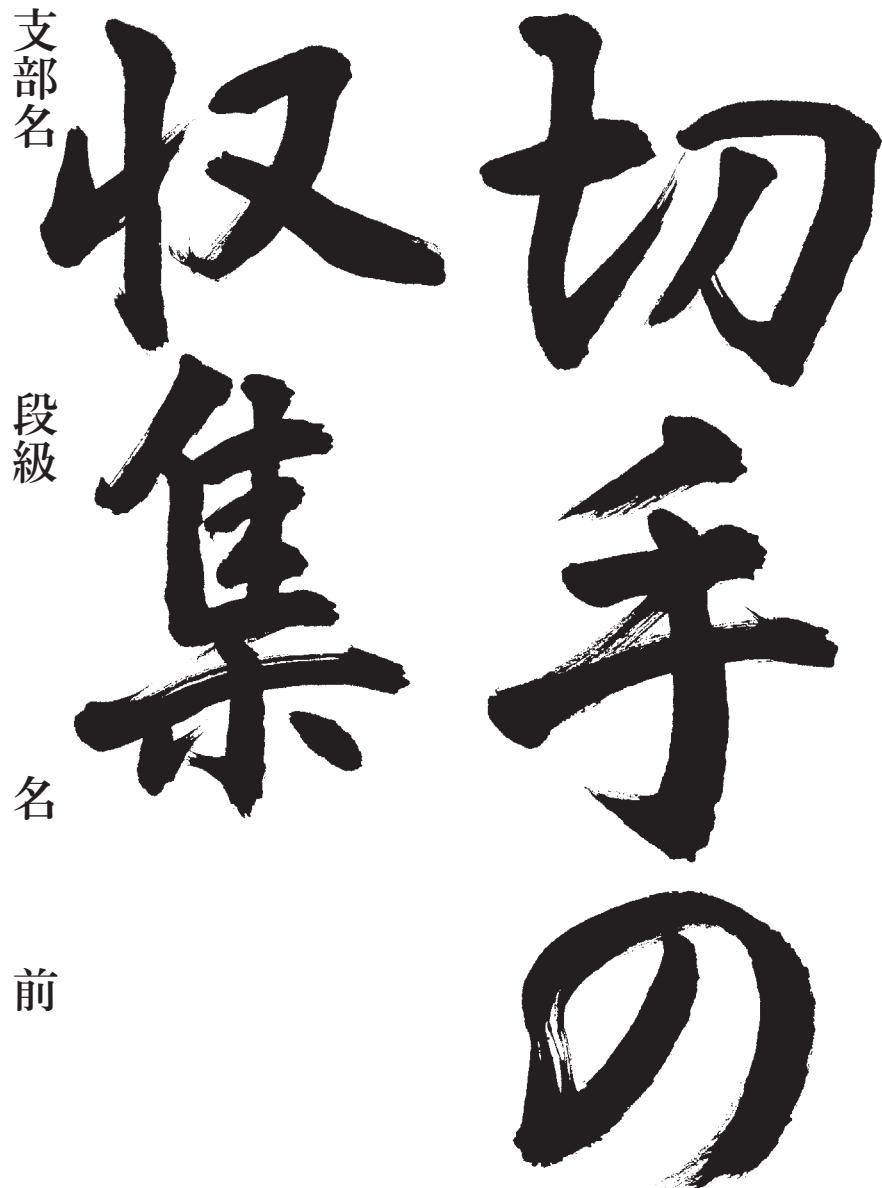
号

毎年八月一日、長岡市の夜空に、平和  
を祈る白菊の大輪の花が咲く。

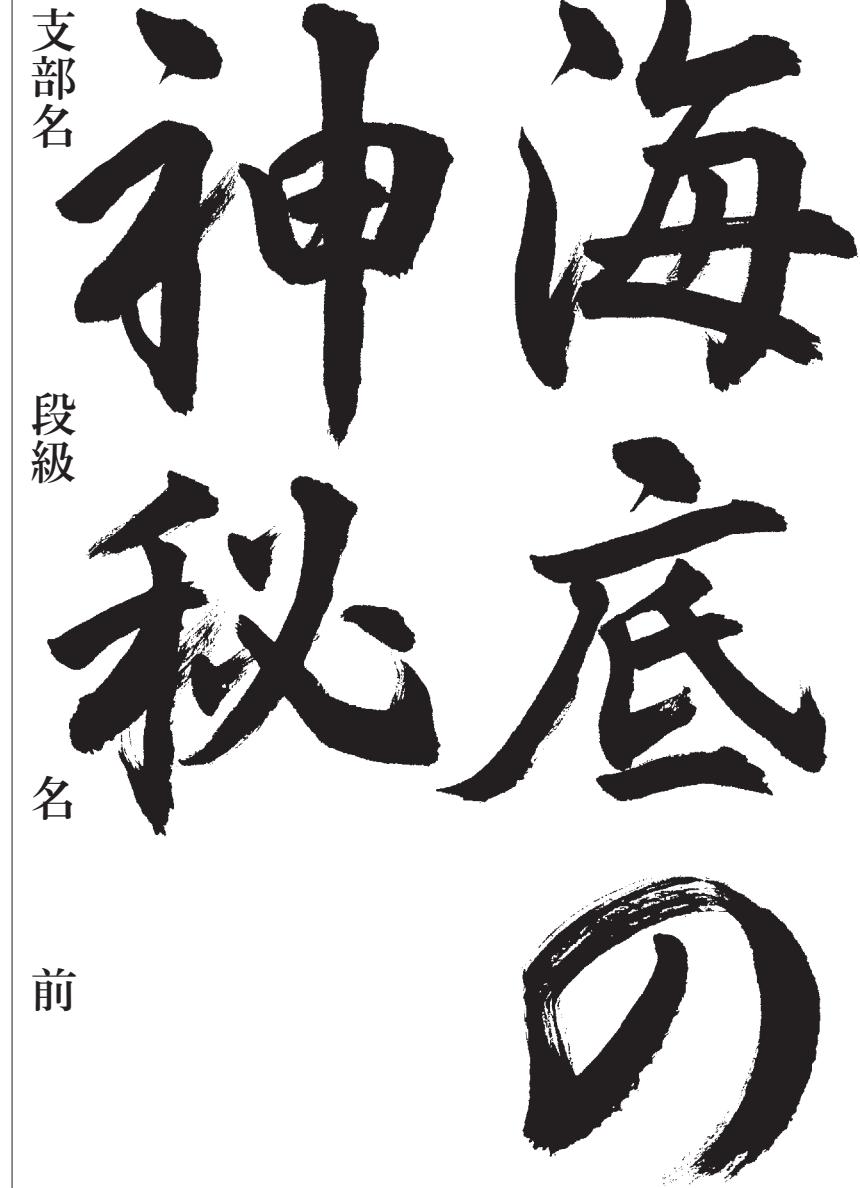
齊藤翡翠先生

(9月10日締切)

中2用



中3用

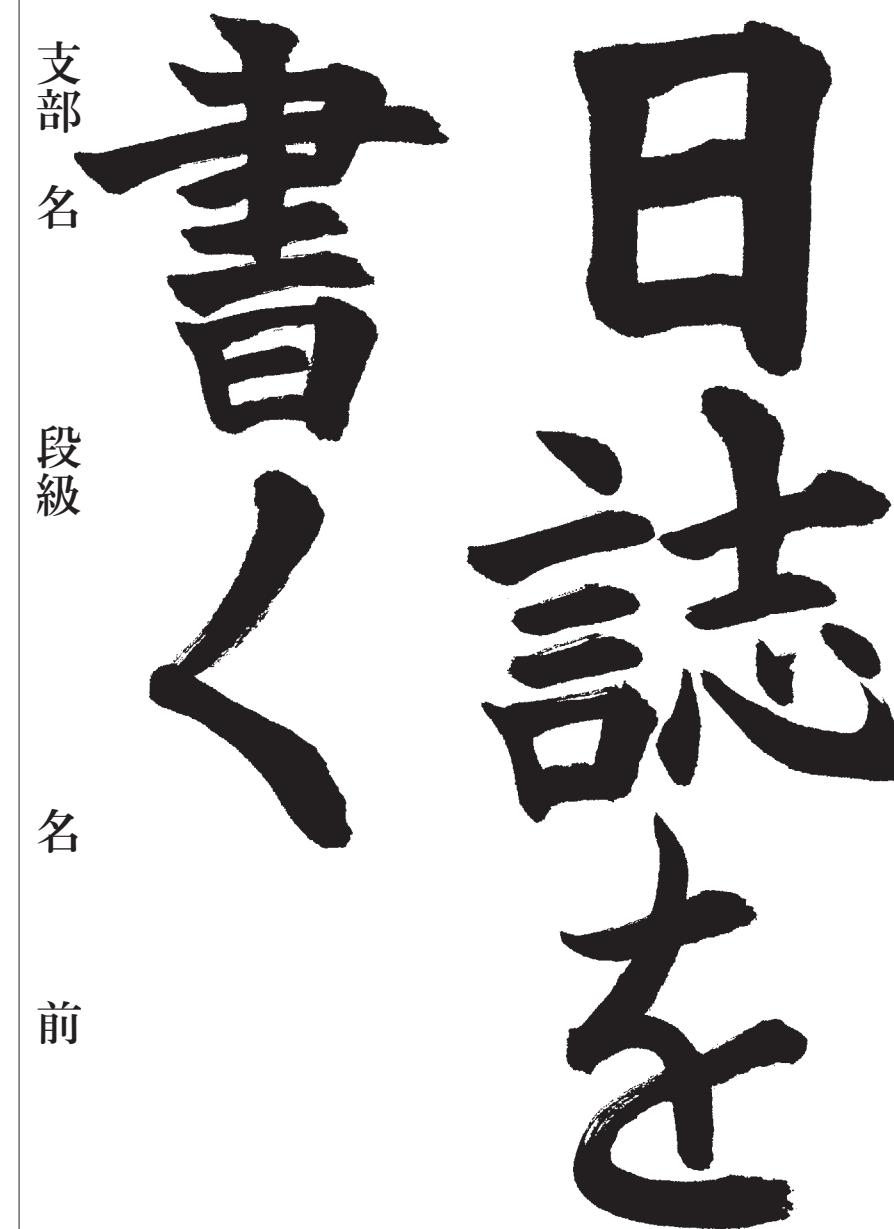


(9月10日締切)

小6用



中1用



(9月10日締切)

小4用

支部名

段級

名前

り卓取

朝平霞山先生

小5用

支部名

段級

名前

の花音火

— 19 —

朝平霞山先生

(9月10日締切)

小2用

支部名

段級

名

前



主幹 菅野翠濤

小3用

支部名

段級

名 前



主幹 菅野翠濤

(9月10日締切)

中 1

中 2

中 3

小1・幼年用

中学生になつて、国語  
辞典を買つてもらつた。

書物を読むことは、秀  
れたら人との会話と同じ。

楷書を美しく書ける人  
は、行書の移行が楽。

中1～中3

青 柳 江 雲 先 生

支部名

段級

名 前

小1・幼年

おまつりに、きんぎよ  
すくいをしました。

小 2

小とりは早起き、あさ  
から元気です。

小 3

早くね早く起き、きそく正  
しい生かつをしよう。

小 4

貝がらを耳にあてると  
波の音がきこえます。

小 5

水族館で見たイルカの  
曲芸は、すごかった。

小 6

日中は夏の暑さが続く  
身体に気をつけよう。

小1～小3

齊藤翡翠流先生

小4～小6

若月久美子先生

先生

(9月10日締切)

## 小学部小筆課題

支部名

段級

名前

夏木立に  
せみの声

主幹 菅野翠濤

季語 || 「朝顔」

朝顔ははかない花であるが、朝いっせいに、一色に咲いたさまは見事である。

## 中学部かな課題

支部名

段級

名前

ひと色い  
おほい  
花



## ◎実用文

半紙タテ書き。落款は行書又は草書

## ◆A部（準三段以上に応試）

暑さ厳しい折柄、皆様にはお健やかにお暮らしの事と存じ上げます。いつも先生のお力添えを感謝申し上げながらも、つい御無沙汰ばかり致しまして申し訳ございません。

## ◆B部（二段以下に応試）

空は晴れ渡っていても、海岸にうち寄せる波は高かつた。土用波の立つとう海の季節のことも何となく思い当たるような日だ。

島崎藤村『熱海土産』より

## ◎細字部

半紙横書き、落款は楷書・旧漢字使用

（初段受験の方は楷行草の三体、準二段以上受験の方は楷行草隸の四体を揮毫して下さい。）

夕景殘霞落 秋寒細雨晴 短縷何用濯 舟在月中行

※級から級への受験者は草書までを揮毫のこと。

## ◆A部 六段・五段に応試

本院定型用紙に楷・行・草別葉に揮毫のこと。（書風は自由・落款は各体に書く。）

雲雀はきっと雲の中で死ぬに相違ない。登り詰めたあげくは、流れて雲に入つて、漂うているうちに形は消えてなくなつて、ただ声だけが空の裡に残るのかかもしれない。

夏目漱石『草枕』より

## ◆B部 四段・三段に応試

本院定型用紙に楷・行・草別葉に揮毫のこと。（書風は自由・落款は各体に書く。）

お子様連れでご清遊にお出かけ下さいませんか。格別のおもてなしは出来ませんが、涼風と新鮮な食品とには事欠きません。

取敢えずご都合をお聞かせ下さい。

## ◆C部 二段・初段に応試

本院定型用紙タテ半分に、楷・行・草別葉に揮毫のこと。（書風は自由・落款は各体に書く。）

歓迎会を催したいと思いますので、恐縮ですが、御出席をお願い申し上げます。  
※級から級への受験者はC部に応試のこと。

## ◎昇段試験 実物大手数料・応試料

科目	種別	六～準五段 を受験	四～準三段 を受験	二～準二段 を受験	初段を受験
漢字	手本料 (1書体)	5,000	3,500	2,500	2,000
	応試料	4,500	4,000	3,500	3,000
かな	手本料 (1セット)	8,500	7,500	6,000	6,000
	応試料	4,500	4,000	3,500	3,000
硬筆	手本料 (3書体)	7,000	6,000	4,500	
	応試料	3,500	3,000	2,500	2,000
実用文	手本料	2,000		1,500	
	応試料	3,000	2,500	2,000	1,500
細字	手本料		2,500		2,000
	応試料	3,000	2,500	2,000	1,500

※合格者には段級証明書を発行します。  
※手本希望の方は手本代と返送用封筒（切手添付）を同封して直接希望の師範へ依頼して下さい。  
※揮毫した師範は一回限り無料添削の義務あるものとし、二回以上添削希望の者はその師範の指示に従つて下さい。  
※漢字作品出品の際、提出作品を、楷・行草・隸の順に重ね、一番上の作品の左下に鉛筆で支部名・現在の段級・姓号を記入して下さい。（仮名作品はそれぞれに鉛筆で記入）  
※バーコード出品券（昇試用シールをつけて）を一枚貼り付けて下さい。

蕭相降昂緯之沐精援德依仁居  
貞體道含章表質詎待變於朱藍  
恭孝為基寧取訓於橋梓

蕭相。降昂緯之淑精。據德依仁。居貞體道。含章表質。詎待變於朱藍。

恭孝為基。寧取訓於橋梓。（36字）

聯落<sup>1/4</sup>継に揮毫

材は蕭相を兼ね、昂緯の淑精を降し、徳に拠り仁に依り、貞に居りて道を体し、章を含み質を表わす。詎ぞ変を朱藍に待たんや。恭孝を基と為す。寧ぞ訓を橋梓に取らんや。

〔ハライ〕左ハライは長く美しく、造形上のおもしろさがあります。起筆をしっかりと打つて終筆までしっかりと引いています。右ハライは、九成宮より厳しい感じがします。スピードをつけて引きおろし、一旦止まりそして右横へおもいきり払いだします。

〔転折〕欧法獨特のものとして転折があげられます。横画から引きだした線はしっかりと止め、背勢にして引きおろします。以上簡単ですが、点や線の方向、角度、強弱が文字の造形に大きく関わってきますので、直観的印象を持つて、そのイメージで臨書して下さい。

〔縦画〕止めるもの、抜くもの、ハネるもの等表情がありますが、ほぼ垂直に近く、スピードをつけて進んでいます。

# 後期昇段試験課題

## (六段・五段)

紫氣青霞之勝似劍術通家氣凡塵深  
白丈靈根妙紅被空涯盡海詩譜

夙宿烟湖上，終年老噭々。漫空

俠氣青濛々  
蠻公劍術通  
家風垂潔白  
丈室續秋紅  
韻寫漚盟海  
詩諧鳳宿桐  
湖山終不老  
咄々漫書空  
(40字)

侠氣  
じょうしつ  
丈室  
青濛々  
せいもうもう  
秋紅を續く。  
えがく  
鰻公  
えんこう  
鳳は桐に宿す。湖山  
劍術に通ず。家風潔白を垂れ、  
漚は海に盟い、詩は諧い  
はくめい  
終に老いず、咄々として漫に空に書す。  
ついで  
みたり  
くう

聯落<sup>1/4</sup>継に揮毫

吳昌碩（道光二十四年（一八四四）—民国十六年（一九二七））は清朝末期から中華民国初期の芸苑に活躍し、中国最後の文人と言われる。詩書画篆刻の四芸に秀で、今日に至るまでその影響にははかりしれないものがある。

行書は王鐸、米芾を学んだというが、石鼓文を臨摹するに及び、篆書の筆法でものした独自の風格を創りあげた。尺牘は六十歳前後のものが多く、まだ温雅な風韻を残している。晩年の詩稿になると、金石的な筆法にみがきがかかり、その線はいよいよ厳しさを増す。「詩の師 已<sup>すでに</sup>に我が公周先生を得たり」と詩稿で述べるよう、呉昌碩は終生、沈石友に詩の指導を仰いだ。

# 後期昇段試験課題（六段・五段）

隸書 乙瑛碑（後漢・作者不詳）

中国法書選4 P55~7



幽讚神明 故特立廟 褒成侯四時來祠 事已即去 廟有禮器 無常人掌領 請置百石圉一人 典主（36字）

聯落 $\frac{1}{4}$ 継に揮毫

（神明を幽讚す。故に特に廟を立つ。褒成侯は四時に来りて祠り、事已われば即ち去る。廟に礼器有るも、常人の掌領する無し。請うらくは百石圉一人置き、守廟を典主せしめ、

贊易道以測精微修春秋以正褒貶故能使紫微降光丹書

贊易道以測精微修春秋以正褒貶故能使紫微降光丹書（23字）

易道に賛して以て精微を測り、春秋を修めて以て褒貶を正す。故に能く紫微をして光を降さしめ、丹書をして……

貶故能使紫微降光丹書

本年夏期講習会はありません！

行草書 松風閣詩卷（宋・黃庭堅）

中国法書選47 P254

依山築閣見平川夜闌箕斗插屋  
様我來名之意通然老松魁

依山築閣見平川。夜闌箕斗插屋椽。我來名之意適然。老松魁（24字）

山に依り閣を築き、平川を見る。夜闌けて、箕斗屋椽を挿む。我來たりて之に名づけて、意適然たり。

老松の魁（梧なる數百年）

謙慎サイズに揮毫

# 後期昇段試験課題

(二 段)

(四段・三段)

然昔之池沼咸引谷澗宮城之内本乏水求而  
然れども昔の池沼、咸な谷澗より引く。宮城の内、本と水源に乏しく、求めて（之れ無し。）

城之内本乏水求而  
然昔之池沼咸引谷澗宮

楷書 九成宮醴泉銘（唐・歐陽詢）

中国法書選31 P18

尉北地大守父臻少貫名州郡不幸早世是以位不副德君（23字）  
尉・北地太守たり父臻は、少くして名を州郡にづらね貫くも、不幸にして早世す。是を以て位は德に副そわず。君は……

謙慎サイズに揮毫

尉北地大守父臻少貫名州郡不幸早世是以位不副德君

隸書 曹全碑（後漢・作者不詳）

中国法書選8 P8

# 後期昇段試験課題（二段）

行草書 集字聖教序（東晋・王羲之）

本年夏期講習会はありません！

中国法書選16 P10

悲正法之陵遲栖慮玄門慨深文之訛謬思欲

悲正法之陵遲栖慮玄門慨深文之訛謬思欲

悲正法之陵遲栖慮玄門慨深文之訛謬思欲（18字）  
正法の陵遲せる悲しみ、慮りを玄門に栖まわせ、深文の訛謬せるを慨く。……思欲す。

隸書 曹全碑（後漢）

中国法書選8 P6

己君胸之今張掖居延都尉  
曾祖父述孝廉謁者

巴郡胸忍令張掖居延都尉。曾祖父述。孝廉謁者（19字）  
巴郡胸忍令・張掖居延都尉たり。曾祖父述は、孝廉・謁者

半切に揮毫

半切に揮毫

# 後期昇段試験課題（初段）

楷書 九成宮醴泉銘（唐・歐陽詢）

中国法書選31

P10

四方遙乎立年撫臨億兆始以武功壹海

四方逮乎立年撫臨億兆始以武功壹海（16字）

四方（を經營し）立年に逮びて、億兆を撫臨す。始め武功を以て海（内）を壹にし、

半切に揮毫

本年夏期講習会はありません！

行書 蘭亭序（東晋・王羲之）

中国法書選15 P15

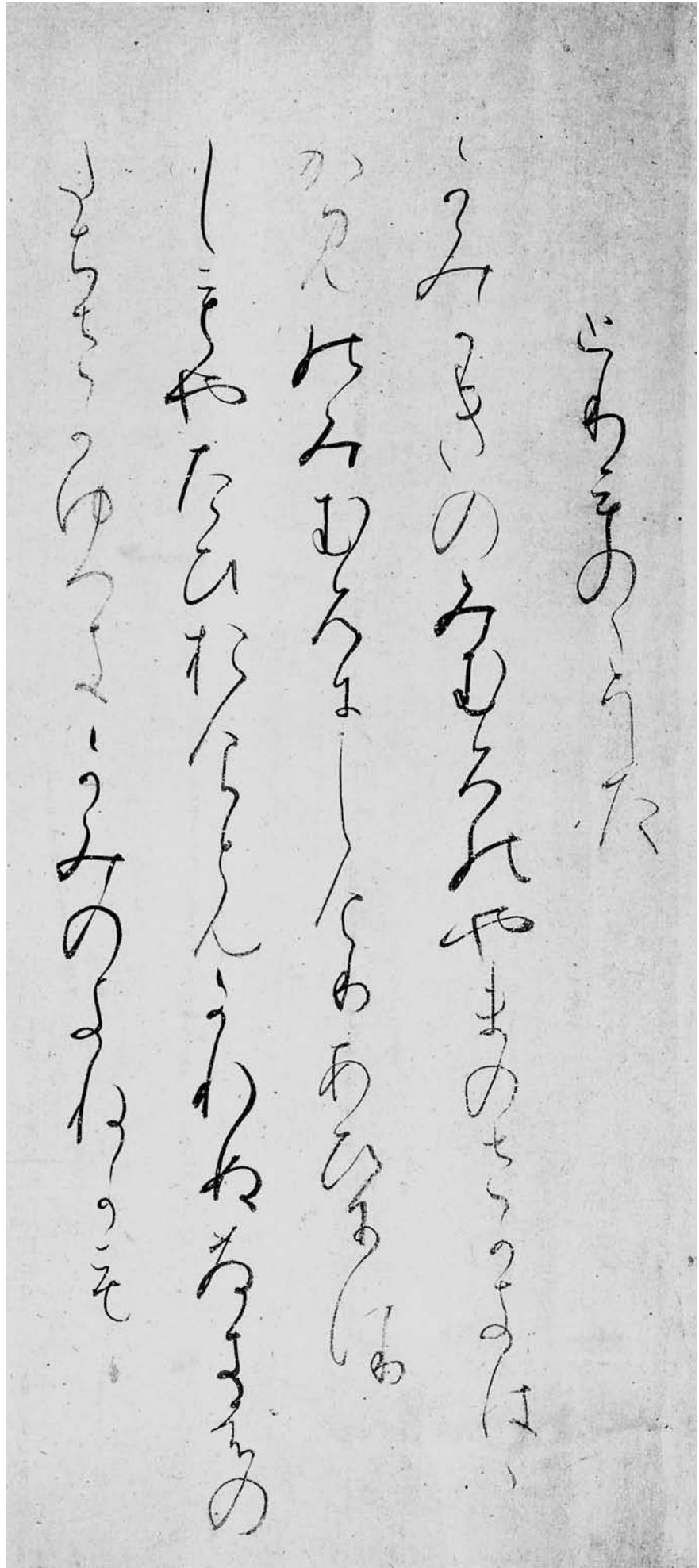
一觴一詠亦足以暢敍幽情是日也天朗氣清

一觴一詠亦足以暢敍幽情是日也天朗氣清（18字）  
亦た以て幽情を暢叙するに足る。是の日や、天朗らか氣清み、

半切に揮毫

# 後期昇段試験かなC臨書課題

(高野切第一種)



\*原寸大で清書して下さい。

